

公益社団法人日本技術士会 CPD行事 報告書

開始日時	2025年10月4日(土)	14時00分
終了日時	2025年10月4日(土)	16時30分
名称	第153回CPDマネジメント講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会千葉県支部	
開催場所	千葉商工会議所12階研修室 および ZOOM によるハイブリッド講演	
行事内容	主催者挨拶：山本副支部長 講演：「稲盛哲学に学ぶ経営手法とその実践～多様な存在と共生～」 講師：高橋 忠仁氏（株式会社 PALTEK 代表取締役会長）	
参加人数	67名（会場：27名（講師含む） リモート：40名）	

【講演概要】 高橋忠仁氏は、株式会社 PALTEK の創業者として、稲盛哲学を基盤にした経営手法を実践し、数々の困難を乗り越えてきた会社経営マネジメントについて講演頂いた。講演では、屋久島の自然から学んだ経営理念である「共生」の哲学を中心に、株式会社頭公開時における PALTEK フィロソフィー手帳の作成秘話、取引企業からの契約破棄における PALTEK 倒産の危機など、「ピンチはチャンス」「世のため人のために」とする経営理念の重要性や具体的な実践方法について、波乱万丈の半生における素晴らしき恩人・師との出会いを踏まえながら解説していただいた。

【主な講演内容】 PALTEK の三層構造としての、哲学・手法・成果物について

第1層の哲学では、「多様な存在との共生」を掲げ、1人では何も出来ない、充実した人生を送るためには互いの存在を認識し、尊重し、長所を出し合い、短所を補完し合い、社員や顧客、取引先との信頼関係によるコア・コンピタンスづくりが不可欠である。

第2層の手法では、哲学を実践するためには、人材の多国籍化、個別 DB マーケティング、会社の計数的経営を通じて哲学を実践するアメーバ経営である。

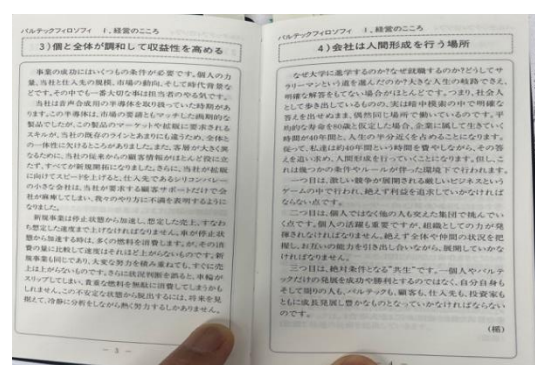
第3層の成果物では、健全な財務経営、社員の雇用を守る、高品質な半導体関連製品の販売、IoT・AI 技術の活用、SDGs 対応型製品の提供である。

としている。経営の教訓として、良い会社は存在しない、ピンチの時こそチャンスである危機を乗り越え、社員と共に新たなビジネスを展開するためには、地道な努力と日々の積み重ねによって長期的な成功につながる。

経営者としての哲学と実践の重要性を再認識させる講演内容であり、特に「共生」の思想を基盤にした経営手法は、現代のグローバル社会においても有効であると感じられる。



（高橋氏による講演状況）



（パルテックフィロソフィー手帳）

